



「太陽の王子 ホルスの大冒険」は、
ぼくたちの青春の一時期の
すべてを注ぎ込んだともいえる
たいへんに思い出深い作品です。

「太陽の王子 ホルスの大冒険」(1968年)より © 東映

子どもの心を解放し、生き生きさせるような本格的なアニメシリーズを作るためには、
どうしなきゃいけないのかということを一生懸命考えた。



「アルプスの少女ハイジ」(1974年)より © ZUIYO



「赤毛のアン」(1979年)より © NIPPON ANIMATION CO.,LTD. "Anne of Green Gables"™AGGLA



日本人が日本のアニメーションを作る、とはどういうことか、
いつも考えていました。



「火垂るの墓」(1988年)より © 野坂昭知／新潮社,1988



「平成狸合戦ぽんぽこ」(1994年)より © 1994 畑事務所・Studio Ghibli・NH



「かぐや姫の物語」(2013年)より © 2013 畑事務所・Studio Ghibli・NDHDMTK

描いてない部分があるとか、ラフなタッチのままだとか。
そしてそれが、とりもなおさず、見る人の心に
記憶を探ろう、想像しようという気持ち呼び覚ますんだと思うんです。
「かぐや姫の物語」での線の途切れ・肥瘦、塗り残し、がたつきなどは、
そのために役立ったのではないのでしょうか。



「ホーホケキョ となりの山田くん」(1999年)より © 1999 いしいひさち・畑事務所・Studio Ghibli・NHD

関連イベント ＊要事前申込／参加無料／要観覧券(半券可)

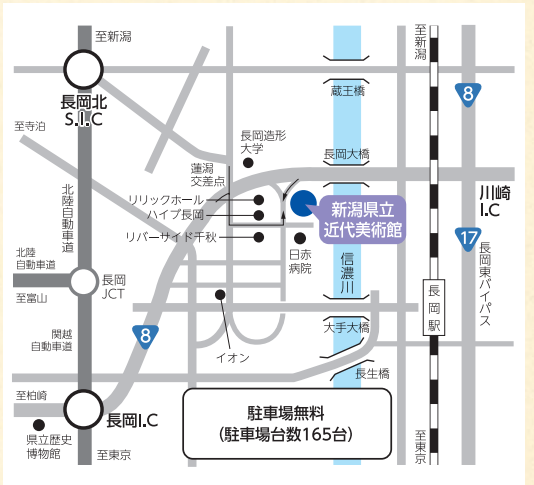
記念講演会	「高畑勲の革新的アニメーション演出術」 講師：叶精二氏（映像研究家、亜細亜大学・女子美術大学講師） 日時：9月19日（日）14:00～15:30	会場：当館講堂 定員：各回80名 申込方法：電話またはメール （定員になり次第、締め切ります） TEL：0258-28-4111（9:00～16:00） Email：ngt503040@pref.niigata.lg.jp
映画鑑賞会	「おもひでぽろぽろ」(1991年／119分) 日時：9月20日（月・祝）14:00～ 「ホーホケキョ となりの山田くん」(1999年／104分) 日時：10月2日（土）14:00～ 「かぐや姫の物語」(2013年／137分) 日時：10月16日（土）①10:00～ ②14:00～	＊新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容に変更が生じる場合がございます。 ＊最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

《同時開催》コレクション展第3期 9月10日（金）～12月12日（日）
展示室1・2「「ものがたり」をめぐる」／展示室3「田畑あきら子 火だるまのなかの白い道」

《新潟県立万代島美術館（新潟市）の展覧会》TEL：025（290）6655
「コレクター福富太郎の眼 昭和のキャバレー王が愛した絵画」9月18日（土）～11月7日（日）

NOM THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館

〔新幹線・在来線〕JR長岡駅（大手口）下車
〔バス〕長岡駅大手口8番線：中央環状線「くるりん」内回り「県立近代美術館」下車（乗車約15分）すぐ
長岡駅大手口2番線：センタープラザ・日赤病院方面行「日赤病院前」下車（乗車約15分）から徒歩5分
〔車〕関越自動車道：長岡ICから約10分／北陸自動車道：長岡北S.I.Cから約10分



高畑勲 (1935～2018) は、1960年代から半世紀にわたって日本のアニメーションを牽引し続けたアニメーション映画監督です。

長編初監督作品となった「太陽の王子 ホルスの大冒険」(1968) で、大人の鑑賞にたえる壮大なスケールの映像世界を作り上げた高畑は、その後つぎつぎにアニメーションにおける新しい表現領域を開拓していきました。70年代には、「アルプスの少女ハイジ」(1974) や「赤毛のアン」(1979) などのテレビ名作シリーズで、日常生活を丹念に描写する演出手法を通して、ファンタジーとは一線を画した豊かな人間ドラマの形を完成させます。80年代以降は、物語の舞台を日本に移し、「じゃりン子チエ」(1981)、「火垂るの墓」(1988)、「平成狸合戦ぽんぽこ」(1994) など、日本の風土や庶民生活のリアリティーを表現するとともに、日本人の戦中・戦後の経験を現在から問い直すような力作を次々に発表します。遺作となった「かぐや姫の物語」(2013) ではスケッチの線を生かした描法に挑み、従来のセル画様式を乗り越える表現上の革新を達成しました。

常に今日的なテーマを模索し、それにふさわしい新しい表現方法を追求した革新者・高畑の創造の軌跡は、戦後の日本のアニメーションの礎を築くとともに、国内外の制作者にも大きな影響を与えました。本展覧会では、高畑の演出術に注目し、制作ノートや絵コンテなどの未公開資料も紹介しながら、その豊穣な作品世界の秘密に迫ります。